

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立阿倍野小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立阿倍野小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

〈現状〉

令和6年度大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙調査において、自己肯定感に関する「自分には良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、79.1%であり、大阪市平均より0.9ポイント下回っている。しかし最も肯定的に回答する児童の割合をみると本校児童の割合は、48.8%であり、大阪市平均より1.4ポイント上回っている。いじめに関する「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は95.5%であり、大阪市平均より0.3ポイント下回っている。また、最も肯定的に回答する児童の割合は81.3%であり、大阪市平均より0.2ポイント上回っている。

〈課題〉

自己肯定感をより一層高め、自分で様々なことに挑戦したり、人のために何かできることはないか考え方組んだりできるようにしていく。また、その取り組みを通していじめはどんな理由があってもいけないことであるという強い意識を高めていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

〈現状〉

令和6年度大阪市小学校学力経年調査の結果、4年生の理科において大阪市平均正答率を少し下回っているが、他の教科においては、大阪市平均正答率を上回っており、学ぶ力については、概ね備わっているといえる。児童質問紙調査について、考えを深めることに関する「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」では、最も肯定的に回答する児童の割合は47.1%であり、大阪市平均を上回っているが、課題であると考える。運動に関する「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」に対して最も肯定的に回答の割合は55.6%であり、大阪市平均より8.2ポイント下回っている。

〈課題〉

主体的・対話的で深い学びとなるよう授業を工夫し、既習内容を生かし、自ら考え、友だちとの意見交流を通して、さらに自分の考えを深めたり広げたりできるようにする。体力向上においては、楽しく体を動かす機会を設け、子どもたちが運動やスポーツに興味関心をもち、より上手に体を使うにはどうすればよいか考え方組むことができるようとする。

【学びを支える教育環境の充実】

〈現状〉

一人一台配備されている学習者用端末については、各教科・領域の学習内容によって効果的に活用するようにしている。子どもたちは端末の操作に慣れ、目的に応じて進んで活用することができる。教職員は一人一人に寄り添い、子どもたちがより成長できるように、いろいろな取り組みを考えたり、教材研究等を行ったりしている。

〈課題〉

今後の社会を見据え、子どもたちが情報機器を日常的に活用し、ICTを活用する能力向上していく。そして、ICTを活用した個に応じた学びや協働的な学びを実現できるようにしていく。よりよい教育を提供するには教職員の健康も必要不可欠である。働き方改革を推進し、教職員がゆとりをもって、子ども一人一人に寄り添うことができるようとする。また、学校での取組を学校ホームページ等を活用し発信し、学校・保護者・地域で協力して子どもたちを育てていくことができるようとする。

中期目標

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめなどが起こらないよう、子ども同士が認め合い、支え合う仲間づくりに努めている」について、肯定的回答率を90%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている」について、「大変そう思う」の割合を30%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、「当てはまらない」と回答する児童の割合を、5%以下にする。
- 令和7年度3学期のQ-Uにおける「学級生活満足群」の割合について、低学年60%以上、高学年70%以上を維持できるようにする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、概ね1.05以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、「難しいと思わない」「どちらかというと難しいと思わない」に回答する児童の割合を、70%以上にする。
- 令和7年度3学期のQ-Uにおける「学習意欲」得点について、9.5以上を維持する。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点が、大阪市平均より上回るようにする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末を活用した授業を高学年で週に3回以上、低学年で週に2回以上実施する。
- 小学校学力経年調査において、4教科の「活用(思考力・判断力・表現力)」について、市平均との比較値を前年度より高める。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる勤務時間に関する【基準2のア:1年間の時間外勤務時間が720時間を超えない】を満たす教員の割合を90%以上にする。
- 児童アンケート「すすんで読書をしている」、保護者アンケート「学校は、子どもがすすんで読書をするように努めている」のそれぞれにおいて、肯定的回答率70%以上を維持する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている」について、肯定的答率85%以上を維持する。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 児童アンケート「相手の目を見て自分からあいさつをしている」「場に応じた正しい言葉づかいをするようにしている」について、「そう思う」と回答する児童の割合85%以上を維持する。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。
- 児童アンケート「けがをしないために、ルールを守って過ごしていますか」について、肯定的答率を80%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を90%以上にする。
- 児童アンケート「すすんで読書をしている」、保護者アンケート「学校は、子どもがすすんで読書をするように努めている」のそれぞれにおいて、肯定的答率65%以上を維持する。
- 保護者アンケート「学校は、説明会や懇談会、学校だよりや学年だより、ホームページなどを通して、教育方針や学校の取組を保護者に分かりやすく知らせている」について、肯定的答率85%以上を維持する。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立阿倍野小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 ○ 保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている」について、肯定的回答率 85%以上を維持する。 ○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 ○ 児童アンケート「相手の目を見て自分からあいさつをしている」「場に応じた正しい言葉づかいをするようにしている」について、「そう思う」と回答する児童の割合 85%以上を維持する。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>毎月の生活指導部会や職員会議後の情報共有、日々の「心の天気」や年2回のQ-Uを活用することで、学校全体で学級のようすや児童の心情変化を把握し、心のケアや指導につなげる。 (いじめへの対応)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 ・ 3学期のQ-Uにおける「学級生活満足群」の割合について、低学年 60%以上、高学年 70%以上を維持できるようにする。 <p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>年3回の避難訓練を通して、非常時に安全に避難できるようにする。また、学期に1回の通学路点検、毎月の安全点検により、危険個所に対して早期に対応するとともに、「見守り隊」や保護者との協働による安全な学校づくりをすすめる。</p> <p style="text-align: right;">(安全教育の推進)</p> <p>指標</p> <p>保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている」について、肯定的回答率 85%以上を維持する。</p>	

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

道徳の学習や学級活動、あべっこ班（たてわり班）活動、ペア学年での「なかよし集会」を通して、思いやりのある集団づくりをすすめることで、自己有用感を高める。

（道徳教育の推進）

指標

児童アンケート「あべっこ班での活動を通して、自分の良いところや友だちの良いところを見つけることができましたか」について肯定的回答率の割合を85%以上にする。

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】

年2回の「あいさつ運動」や代表委員会の活動、その他、授業中の発言や職員室への入室時の言葉など機を捉えて指導することで、場に応じたあいさつや言葉づかいができるようにする。

（道徳教育の推進）

指標

児童アンケート「相手の目を見て自分からあいさつをしている」「場に応じた正しい言葉づかいをするようにしている」について、「そう思う」と回答する児童の割合85%以上を維持する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容】について（進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などを記述）

- ①
- ②
- ③
- ④

今後の改善点

【取組内容】について（課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述）

- ①
- ②
- ③
- ④

大阪市立阿倍野小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率をいずれの学年も対全国比より向上させる。 ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。 ○ 児童アンケート「けがをしないために、ルールを守って過ごしていますか」について、肯定的回率を80%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>国語科の研究を行い、公開授業を各学年1回以上実施する。また、基礎的・基本的な学習内容についての理解を確かにするための取組（朝学習やチャレンジタイム、家庭学習の習慣を確立する取組など）を行う。 (言語活動・理数教育の充実<思考力・判断力・表現力等の育成>)</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率をいずれの学年も対全国比より向上させる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童が自分の考えをもち、話し合ったり発表したりする場を日々の授業や活動の中で取り入れる。 (言語活動・理数教育の充実<思考力・判断力・表現力等の育成>)</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。</p> <p>児童アンケートにおける「自分の考えを伝えるときに、相手を意識して表現するようしている。」に対して、最も肯定的な「とてもそう思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。</p>	

取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

運動週間や「みんな遊び」により児童が運動する機会を増やすとともに、記録表を活用するなどの体力向上の意識が高まるような工夫をする。

(体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標

- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的回答率 85%以上にする。
- ・ 保護者アンケート「学校は、子どもたちの体力向上に努めている」について、肯定的回答率 85%以上を維持する。

取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

学校のきまりをもとに、ルールを守ることが安全な学校生活につながることを理解できるようにする。また、保健強調週間における「元気アップカード」の活用や、毎月の「保健だより」、安全に関する掲示物の作成などを通して、けがの予防について児童や保護者の意識を高める。

(健康教育・食育の推進)

指標

児童アンケート「けがをしないために、ルールを守って過ごしていますか」について、肯定的回答率を 80%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容】について（進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などを記述）

- ①
- ②
- ③
- ④

今後の改善点

【取組内容】について（課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述）

- ①
- ②
- ③
- ④

大阪市立阿倍野小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。 ○ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を90%以上にする。 ○ 児童アンケート「すすんで読書をしている」、保護者アンケート「学校は、子どもがすすんで読書をするように努めている」のそれぞれにおいて、肯定的回答率65%以上を維持する。 ○ 保護者アンケート「学校は、説明会や懇談会、学校だよりや学年だより、ホームページなどを通じて、教育方針や学校の取組を保護者に分かりやすく知らせている」について、肯定的回答率85%以上を維持する。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXデジタルトランスフォーメーションの推進】</p> <p>「キーボードチャレンジ」の時間やアプリの操作方法の習得など、基本的な技能を高めることで、ICTを活用して協働的な学びが進められるようとする。また、情報モラルを育むための実践や、教員自身の情報活用能力向上をめざす研修、ICT支援員との連携に取り組む。 (ICTを活用した教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「ゆとりの日」を月2回程度設定する等、「学校園における働き方改革推進プラン」を促進する。 (働き方改革の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を90%以上にする。</p>	

取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】

係活動や委員会活動による取組、図書に関する掲示物の工夫、学級・学年文庫の充実、学校司書との連携を通して、児童が読書習慣を身につけられるようにする。

(「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組)

指標

- ・ 児童アンケート「すすんで読書をしている」において、肯定的回率を 65%以上にする。
- ・ 保護者アンケート「学校は、子どもがすすんで読書をするように努めている」において、肯定的回率を 70%以上にする。

取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

毎月の学校だよりや学年だより、ホームページを通して学校の取組や児童の様子を保護者や地域に広報することで、家庭や地域との連携を深められるようにする。

(教育コミュニティづくりの推進)

指標

- ・ 保護者アンケート「学校は、説明会や懇談会、学校だよりや学年だより、ホームページなどを通して、教育方針や学校の取組を保護者に分かりやすく知らせている」について、肯定的回率 85%以上を維持する。
- ・ ホームページへの年間アクセス数 20,000 件以上を維持する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容】について（進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などを記述）

- ①
- ②
- ③
- ④

今後の改善点

【取組内容】について（課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述）

- ①
- ②
- ③
- ④